



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各 位

2021年9月29日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2021年8月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。

百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、ビジネスホテルにおいて前年同月を

下回り、リゾートホテルは前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年

同月を下回り、宿泊収入(推計値)においては前年同月を上回る。

☆ 企業倒産：発生なし。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：仲本、新垣、與那覇 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2021年8月分)

◎2021年8月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。

8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

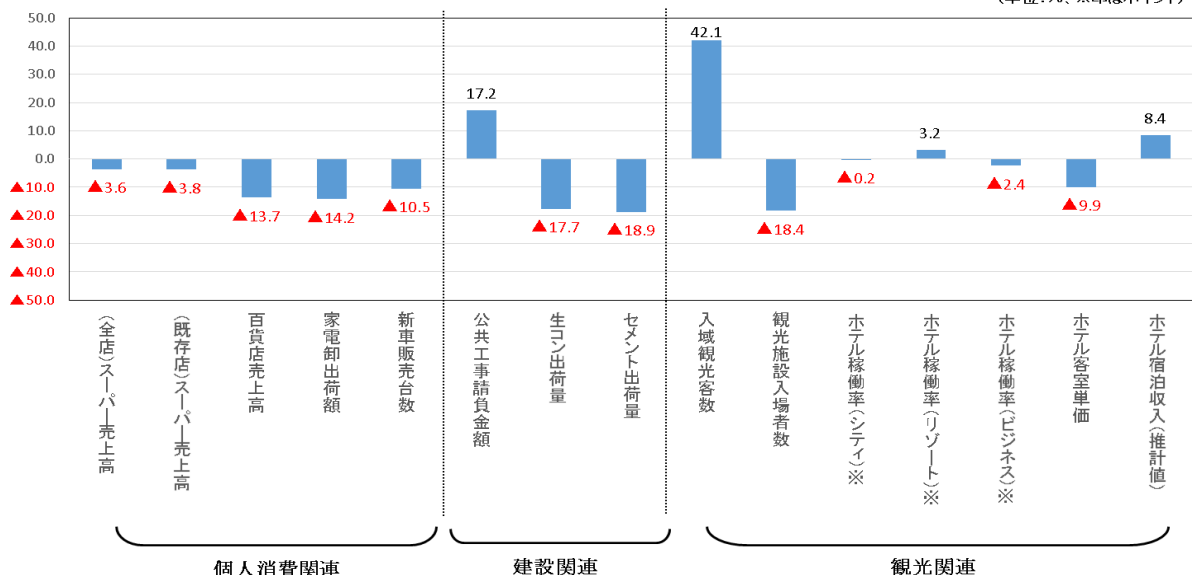
建設関連では、公共工事請負金額は3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数においては緊急事態宣言継続に伴う臨時休業（休館・休園）により前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルは前年同月を下回り、リゾートホテルにおいては前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入（推計値）においては前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、緊急事態宣言継続に伴い建設関連は弱い動きが続いており、個人消費は商業施設の休業体制などにより弱さが見られます。また、観光関連では入域観光客数が増加に転じるものの、観光施設の休業・休園などにより全体的に弱さがみられ、依然として厳しい状況にあることから、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により復調の動きが依然停滞し、厳しい状況にある。」と景気判断を据え置きました。
(2021年2月の下方修正から7ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、※印はポイント)



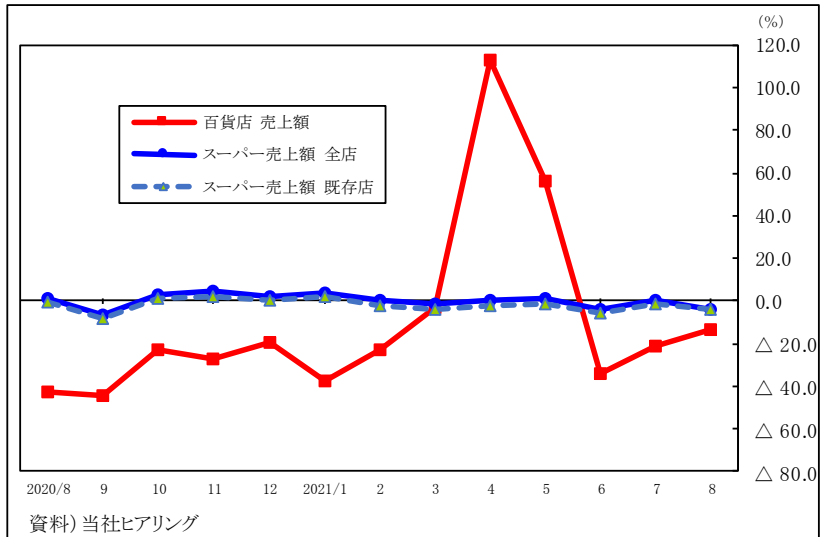


■個人消費:(やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2020/8	1.5	△ 0.8	△ 42.7
9	△ 6.1	△ 8.0	△ 44.0
10	3.3	1.1	△ 23.0
11	4.5	2.3	△ 27.0
12	2.2	0.4	△ 19.3
2021/1	3.9	1.7	△ 37.7
2	0.1	△ 2.1	△ 22.6
3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5
4	0.2	△ 1.9	113.0
5	1.0	△ 1.0	56.4
6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3
7	0.7	△ 1.3	△ 20.8
8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7



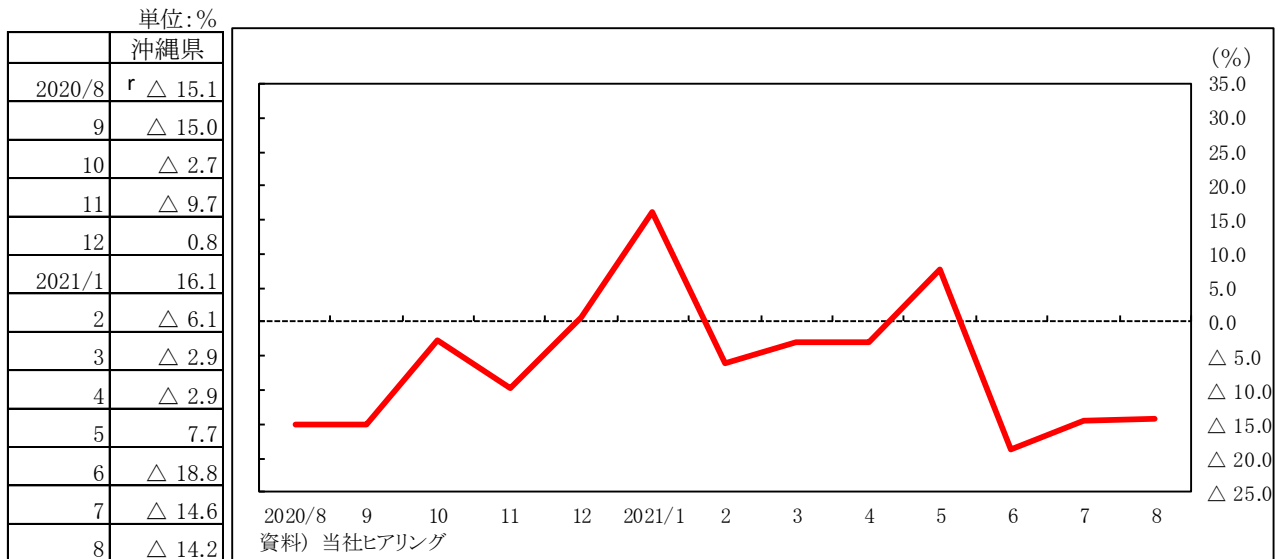
注) 前年同月比

8月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 3.6%減)」は、緊急事態宣言発出による外出自粛の影響などから、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、「衣料品(同 15.1%減)」、「家庭用品(同 8.5%減)」は、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。「食料品(同 2.2%減)」は旧盆需要が伸びず4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同 3.8%減)」は、7ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 2.4%減)」は、来店客数の減少および旧盆需要が伸びず前年同月を下回りました。「衣料品(同 10.7%減)」、家電を含む「家庭用品(同 8.7%減)」は、緊急事態宣言発出による大型店舗の休業要請や、外出自粛、気候要因などにより、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、緊急事態宣言発出による外出自粛および一部店舗の休業要請の影響などにより、来店客数が伸びず、3ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 13.7%減)。内訳をみると、「食料品(同 0.9%減)」は、お中元ギフト需要が好調だったものの、緊急事態宣言発出による来店客数減少の影響から6ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。ウェイトの高い「衣料品(同 16.5%減)」は、来店客数の減少などから「紳士服(同 13.7%減)」、「婦人服(同 14.0%減)」、「子供服(同 31.2%減)」など全般的に伸びず、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。「雑貨(同 30.0%減)」は、緊急事態宣言発出による休業要請の影響などにより、前年同月を下回りました。

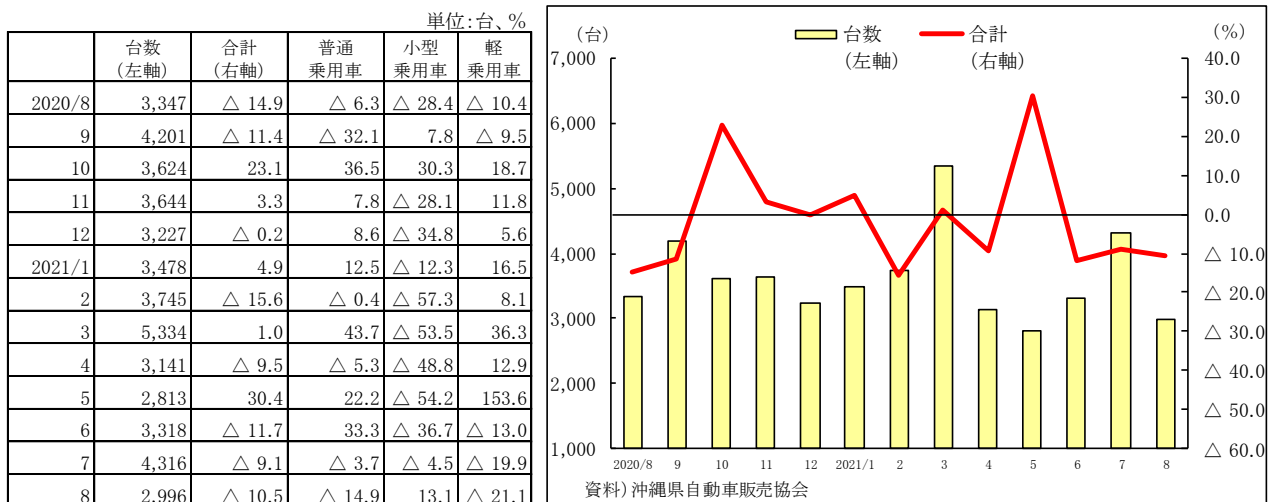
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は3ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、3ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 14.2%減)。品目別では、「洗濯機(同 15.5%増)」は、買い替え需要が増加し、前年同月を上回りました。一方、「テレビ(同 2.3%減)」、「エアコン(同 26.2%減)」、「冷蔵庫(同 42.3%減)」は、天候要因や、世界的な半導体不足の影響による在庫不足などから、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、3ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

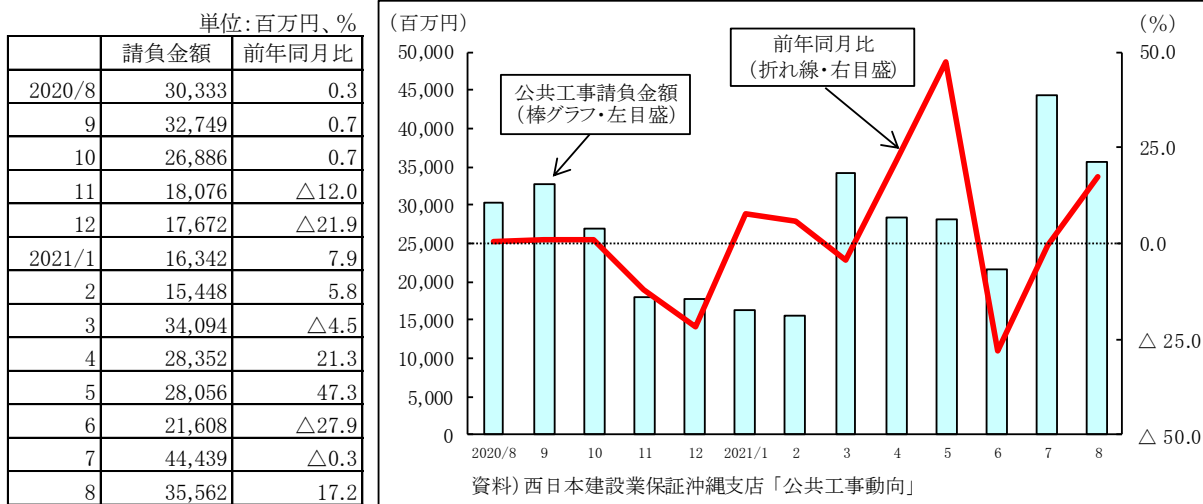
新車販売台数は、全体で2,996台(同 10.5%減)となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「小型乗用車(同 13.1%増)」は、自家用車は減少したものの、レンタカーが増加し、前年同月を上回りました。一方、「普通乗用車(同 14.9%減)」は、レンタカーが減少し、前年同月を下回りました。「軽乗用車(同 21.1%減)」は自家用車が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

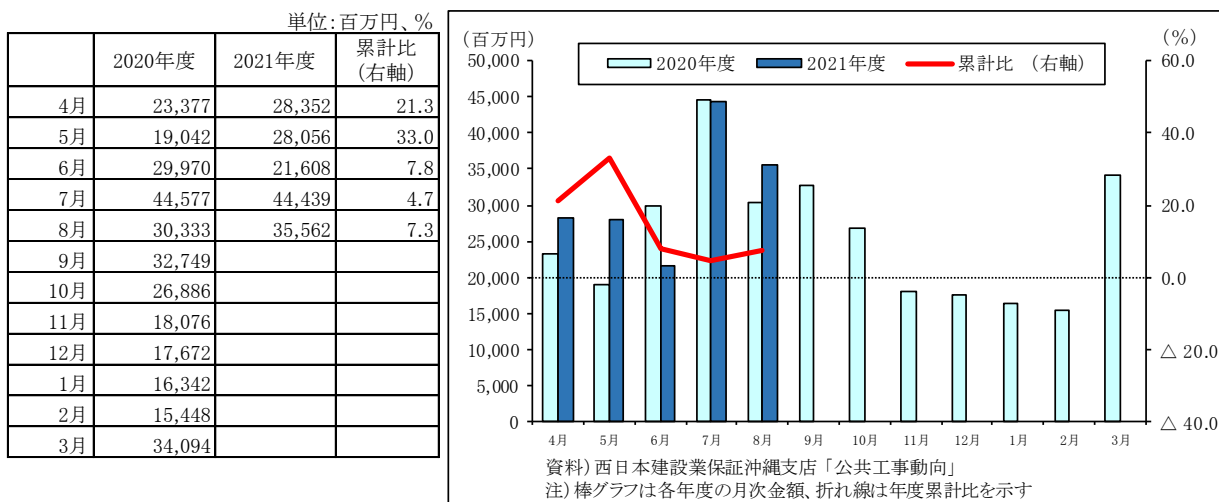


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



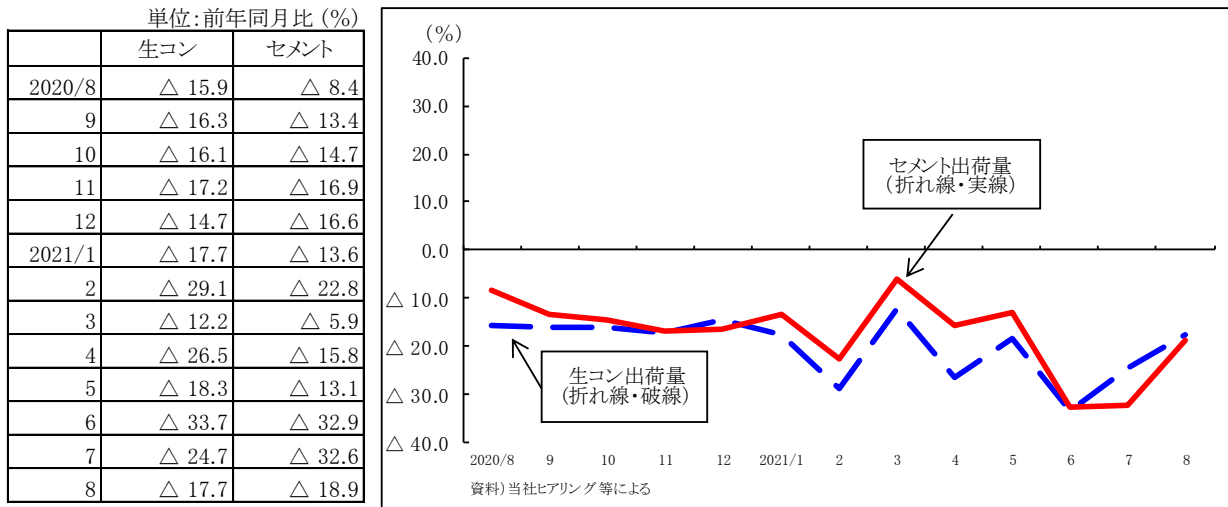
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



8月の公共工事請負金額は、前年同月比17.2%増の355億6,200万円となりました(3ヵ月ぶり増)。今年度累計値では7.3%増となっております。

発注者別でみると、「国(同76.2%増)」や「独立行政法人等(同約22倍)」、「沖縄県(同9.3%増)」、「その他の公共的団体(同43.2%増)」は前年同月を上回りました。一方、「市町村(同18.7%減)」は前年同月を下回りました。

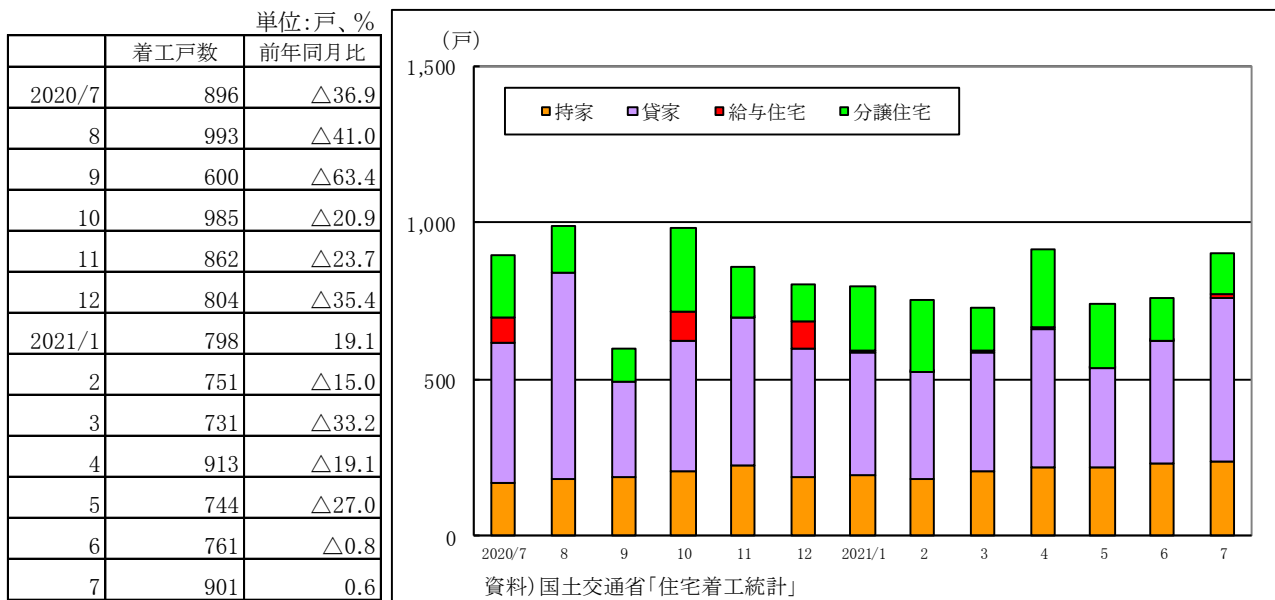
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

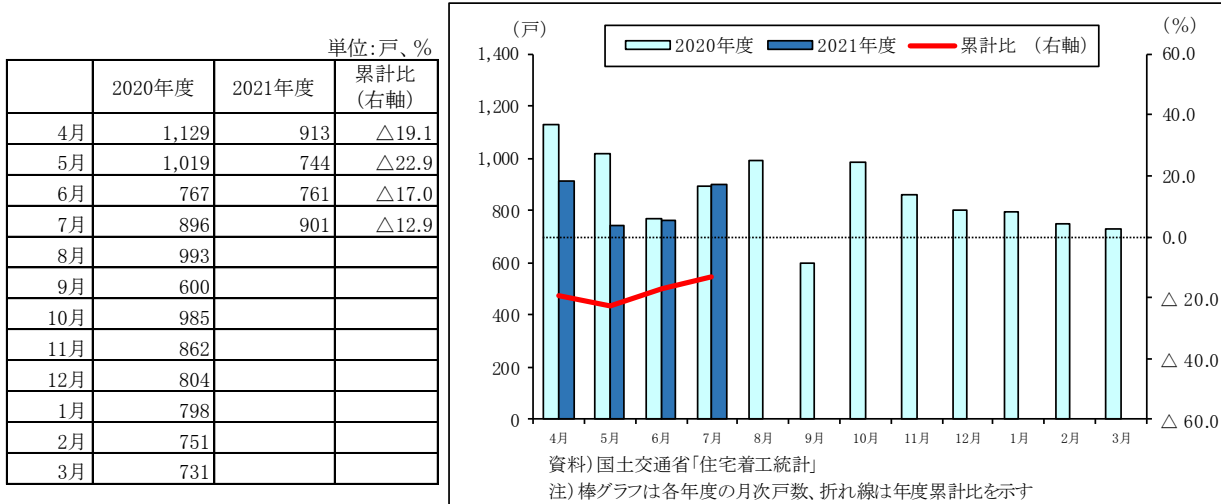
建設資材関連では、生コンの出荷量は17.7%減と19ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より25.8%下回り、民間工事向けは、ホテル関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より13.5%下回りました。セメント出荷量は18.9%減と14ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資(7月)・・・着工戸数は前年同月を上回る。



7月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比0.6%増の901戸となり、6ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウエイトの高い「貸家(同15.5%増)」のほか、「持家(同44.8%増)」は前年同月を上回りました。一方、「給与住宅(同88.0%減)」や「分譲住宅(同33.5%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、12.9%減となっています。



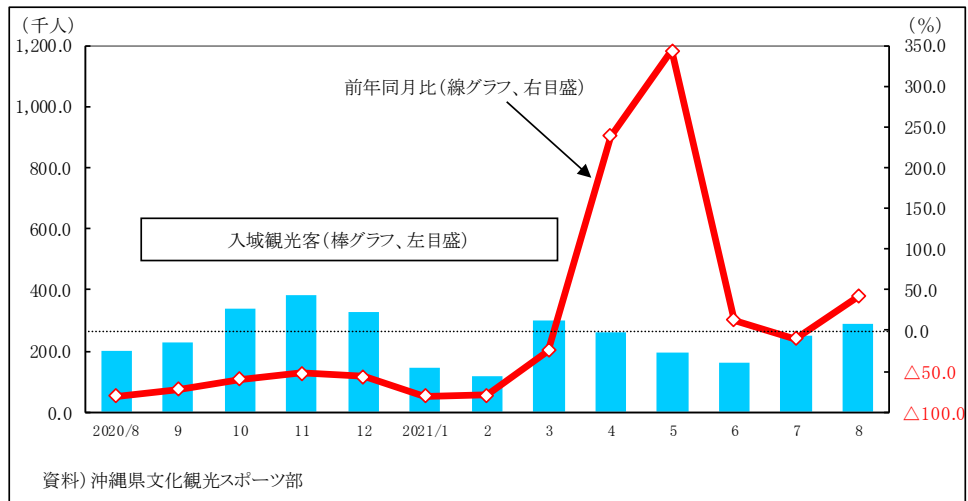
■観光関連： (悪い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/8	202.8	△ 80.1
9	227.6	△ 71.9
10	341.2	△ 59.9
11	381.1	△ 52.3
12	326.2	△ 56.8
2021/1	144.0	△ 80.2
2	118.8	△ 79.9
3	299.2	△ 24.5
4	262.6	239.7
5	195.2	343.6
6	162.9	13.0
7	250.4	△ 9.7
8	288.2	42.1

※外国客は乗務員等を含む

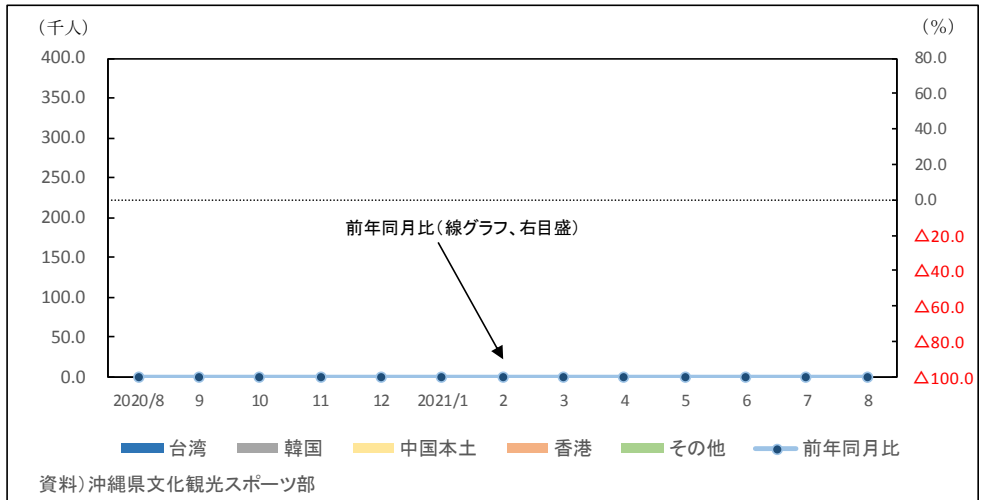


外国客 入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/8	0.0	△ 100.0
9	0.0	△ 100.0
10	0.0	△ 100.0
11	0.0	△ 100.0
12	0.0	△ 100.0
2021/1	0.0	△ 100.0
2	0.0	△ 100.0
3	0.0	△ 100.0
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0
7	0.0	△ 100.0
8	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



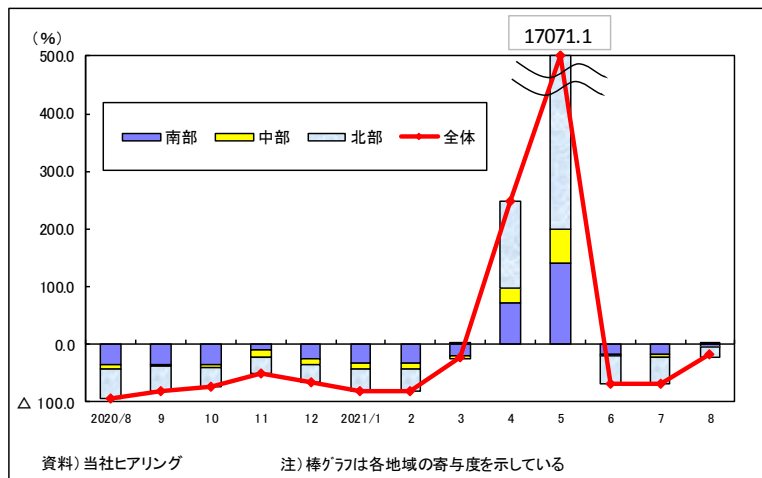
8月の入域観光客数は、85,400人多い288,200人(前年同月比42.1%増)となり、前年同月を上回りました。緊急事態宣言が継続されたものの、航空路線での新規就航や夏季期間の増便があった影響などから、前年同月を上回りました。また前々年(2019年)同月比では733,000人減少(約71.8%減)と大きく下回っており、依然として厳しい状況となっています。

外国客入域観光客数は、前年同月同様0人となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から、日本への入国制限措置がとられたことなどから、「台湾(同100.0%減)」「韓国(同100.0%減)」「中国本土(同100.0%減)」「香港(同100.0%減)」と引き続き皆減となりました。

②観光施設入場者数・・・3ヶ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2020/8	△ 92.9	△ 92.3	△ 95.9	△ 92.8
9	△ 80.4	△ 86.8	△ 73.5	△ 76.4
10	△ 73.5	△ 81.8	△ 75.7	△ 65.9
11	△ 50.7	△ 38.1	△ 70.2	△ 51.7
12	△ 65.4	△ 70.0	△ 65.5	△ 61.9
2021/1	△ 82.3	△ 87.8	△ 77.1	△ 79.6
2	△ 80.3	△ 90.4	△ 81.7	△ 72.5
3	△ 23.6	△ 46.0	△ 44.3	5.2
4	247.0	208.7	242.5	271.5
5	17,071.0	22,466.4	5,377.9	25,429.4
6	△ 68.8	△ 70.6	△ 47.7	△ 69.6
7	△ 67.5	△ 65.3	△ 64.9	△ 68.7
8	△ 18.4	△ 9.0	76.8	△ 35.2



※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえ集計している。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 18.4%減少しました。緊急事態宣言継続に伴う臨時休業(休館・休園)により前年同月を下回りました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 9.0%減、北部は 35.2%減となりました。一方、中部においては前年度より開園日数が増加した施設がいくつかあり、前年同月より 76.8%増加しました。

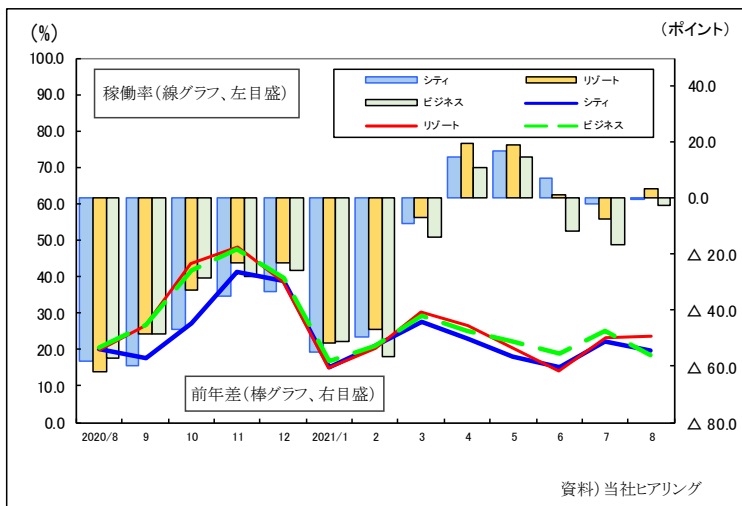
(参考)前々年(2019年)比では、全体で 94.2%の減少となります。内訳では南部にある観光施設が 93.0%減少、中部が 92.8%減少、北部が 95.3%の減少と、依然厳しい状況となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を下回り、リゾートホテルにおいては前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2020/8	20.0	19.8	20.7	△ 58.1	△ 62.1	△ 56.9
9	17.6	26.6	26.7	△ 59.9	△ 48.4	△ 48.6
10	27.0	43.7	41.6	△ 46.6	△ 32.7	△ 28.4
11	41.2	48.3	47.4	△ 35.1	△ 23.1	△ 28.2
12	38.9	38.5	39.5	△ 33.2	△ 23.3	△ 25.9
2021/1	15.1	14.9	16.7	△ 55.1	△ 51.9	△ 51.4
2	20.9	20.4	20.9	△ 49.4	△ 46.7	△ 56.7
3	27.8	30.3	29.4	△ 9.2	△ 7.0	△ 13.8
4	23.0	26.4	25.0	14.7	19.3	11.1
5	17.9	20.3	22.3	16.6	18.9	14.7
6	15.3	14.1	18.9	7.2	1.3	△ 11.5
7	22.1	23.2	25.3	△ 1.8	△ 7.3	△ 16.4
8	19.8	23.5	18.3	△ 0.2	3.2	△ 2.4

注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。



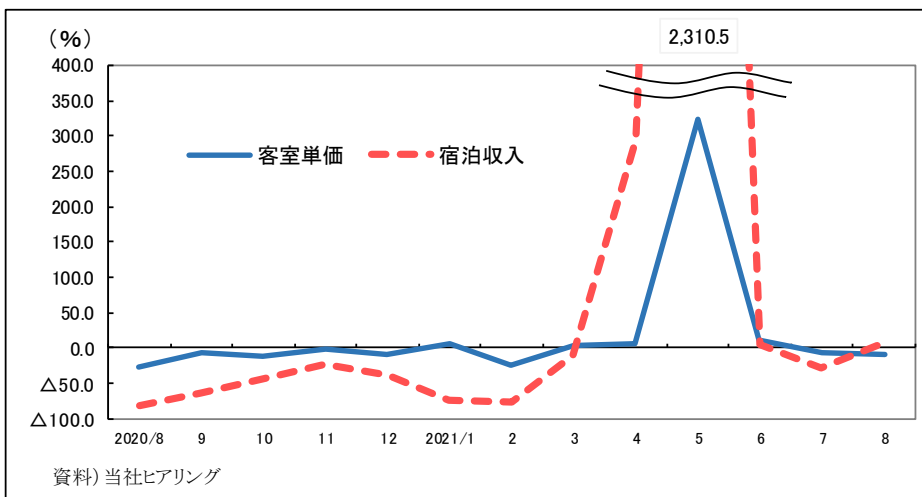
県内ホテル稼働率は、当月全体が緊急事態宣言下(前年度においても8月全体が緊急事態宣言下)となり、シティホテルが19.8%と前年同月より0.2ポイント減少、ビジネスホテルが18.3%と2.4ポイント減少しました。リゾートホテルは23.5%と3.2ポイント上昇しました。

(参考)前々年(2019年)比では、シティホテルが58.3ポイントの減少、リゾートホテルが58.4ポイントの減少、ビジネスホテルが59.3ポイントの減少と、依然厳しい状況となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2020/8	△25.8	△81.2
9	△6.6	△64.0
10	△11.5	△44.3
11	△1.9	△24.4
12	△9.8	△37.2
2021/1	5.2	△75.0
2	△24.1	△75.6
3	3.5	△10.5
4	6.5	295.2
5	323.9	2,310.5
6	11.2	4.4
7	△6.6	△28.0
8	△9.9	8.4



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く
※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。
※新型コロナウイルス感染症の影響等をふまえて集計している。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比9.9%減と前年同月を下回る一方、宿泊収入はリゾートホテルの稼働率上昇の影響を受け、8.4%増と前年同月を上回りました。

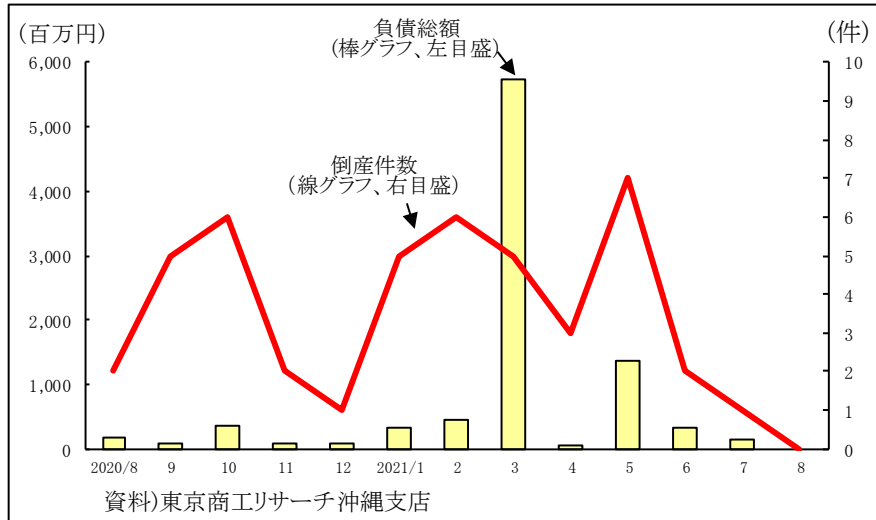
(参考)前々年(2019年)比では、客室単価が28.7%の減少、客室収入は77.3%の減少と、依然厳しい状況となっています。



■企業倒産： (やや良い)
企業倒産・・・発生なし。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2020/8	182	2
9	84	5
10	360	6
11	87	2
12	88	1
2021/1	312	5
2	454	6
3	5,753	5
4	37	3
5	1,359	7
6	337	2
7	154	1
8	0	0



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

8月の企業倒産は、発生なしとなりました(2020年5月以来)。

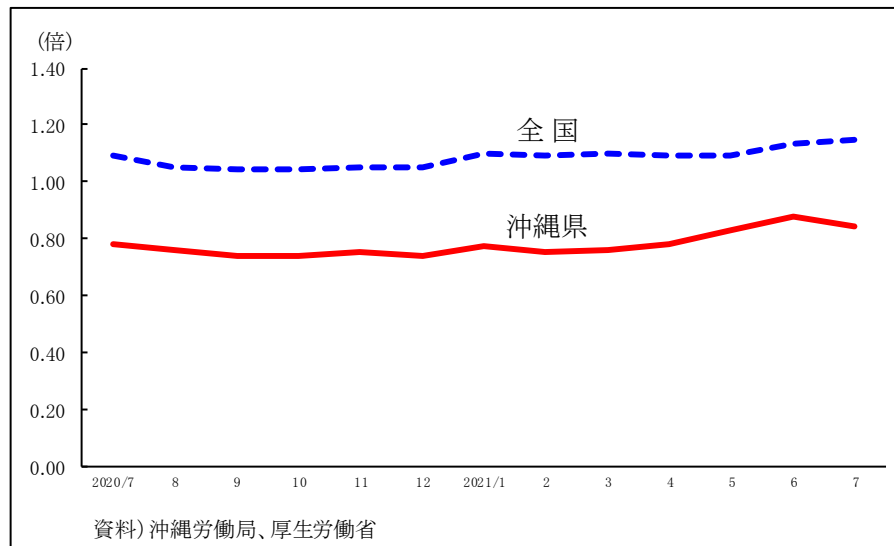


■雇用関連： (やや悪い)

①【参考】有効求人倍率(7月)・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2020/7	0.78	1.09
8	0.76	1.05
9	0.74	1.04
10	0.74	1.04
11	0.75	1.05
12	0.74	1.05
2021/1	0.77	1.10
2	0.75	1.09
3	0.76	1.10
4	0.78	1.09
5	0.83	1.09
6	0.88	1.13
7	0.84	1.15



注) 季節調整済

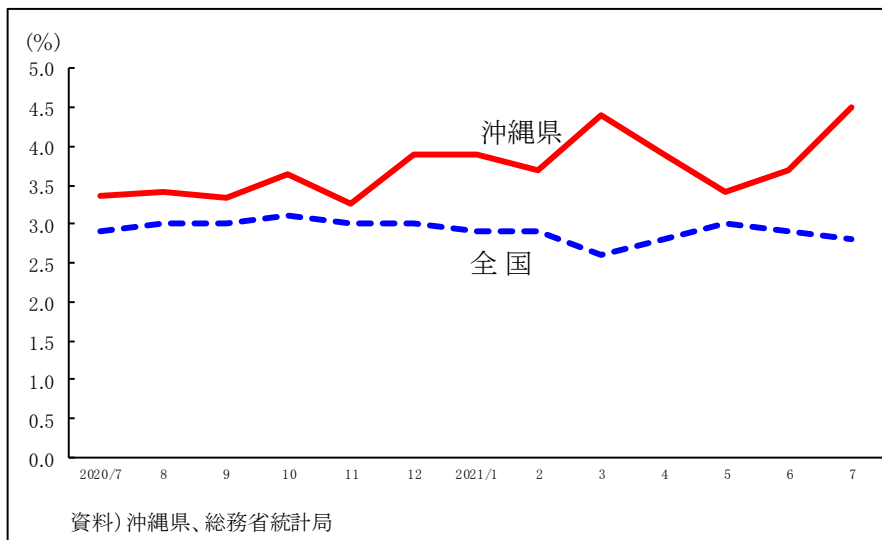
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

7月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比0.1%増の24,600人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比3.7%増の29,120人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.84倍と、前月より0.04ポイント低下しました。

②【参考】完全失業率（7月）・・・沖縄は前月より上昇、全国は低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2020/7	3.4	2.9
8	3.4	3.0
9	3.3	3.0
10	3.6	3.1
11	3.3	3.0
12	3.9	3.0
2021/1	3.9	2.9
2	3.7	2.9
3	4.4	2.6
4	3.9	2.8
5	3.4	3.0
6	3.7	2.9
7	4.5	2.8



注) 季節調整済

7月の完全失業率(季節調整値)は、4.5%となり前月より0.8ポイント上昇しました。